

第 2 期中期目標（案）に対する意見及び反映について

第 2 期中期目標（案）	評価委員からの意見	市の考え方	第 2 期中期目標（修正案） 修正箇所到下線
<p>前文</p> <p>上田市は、地域が支えてきた長野大学の50年に及ぶ歴史の重みを踏まえ、その運営基盤を強化し、大学改革をはじめとした様々な取組によって地域から信頼される大学となり、市とともにまちづくりを実践することで地域が発展することを願い、2017年（平成29年）4月に公立大学法人長野大学を設立した。</p> <p>設立の目的は、地域に根ざした大学として教育と研究を推進し、豊かな人間性と高い専門性及び国際的な視座をもった実践力のある人材を育成し、地域の産業及び社会の発展に貢献する知の拠点を形成することにある。この目的の達成に向け、長野大学は、市民によって支えられている大学であることを強く自覚し、不断の改革を実行することを通じて、地域に愛され、地域の力になる公立大学として持続的に発展していくことが求められている。</p> <p>現在、人口減少や少子高齢化、グローバル化の進展、ビッグデータ、AIなどの情報技術の革新やSDGsの推進、更には新型コロナウイルス感染症がもたらす社会変容への対応など、時代の大きな転換期にあって、大学は地方創生に寄与する教育・研究を通じた、時代や社会のニーズに即した人材の育成など、実効性のある取組を通じて存在意義を一層高めていく必要がある。</p> <p>こうした状況を踏まえ、長野大学が自律的かつガバナンスを強化した大学運営を推進することにより、知の拠点としての使命を果たすため、設立者である上田市は、以下のとおり第2期中期目標を定める。</p>	<p>①（質問）1期生の就職・学業との調査分析について</p> <p>①「知の拠点」はよく使われている言葉ですが、ここにかかる文言を見ると、大学が基本的に期待されていることのように思います。敢えて「知の拠点」とするからには、それを超えたものを想定していると察します。具体的にどのような状況になったら知の拠点になったと言えるのか、またそれに対して現状はどうか、簡潔でいいので要点を冒頭に入れた方が良いでしょう？</p> <p>第2期に入るにあたって見えてきたこともあると思います。</p> <p>②ここに、6年間の進捗状況に対する市の認識が入るべきでは？市民にとっては公立法人化した結果がどうなっているのかわからないだろう。当初の6年間はこうだから（ここまでできた）、今後はこうする、というのが普通の流れではないか。</p>	<p>①別途、提供します。</p> <p>①「知の拠点」は当初から変わらず市が大学に期待するところであり、前段にある「地域の産業及び社会の発展に貢献する」ことを求めています。その具体策は別項目でお示ししており、前文では、本表現のままとしたいと考えています。</p> <p>②見込業務実績評価書及び他の公立大学法人中期目標を参考に追記しました。</p>	<p>前文</p> <p>上田市は、地域が支えてきた長野大学の50年に及ぶ歴史の重みを踏まえ、その運営基盤を強化し、大学改革をはじめとした様々な取組によって地域から信頼される大学となり、市とともにまちづくりを実践することで地域が発展することを願い、2017年（平成29年）4月に公立大学法人長野大学を設立した。</p> <p>設立の目的は、地域に根ざした大学として教育と研究を推進し、豊かな人間性と高い専門性及び国際的な視座をもった実践力のある人材を育成し、地域の産業及び社会の発展に貢献する知の拠点を形成することにある。この目的の達成に向け、長野大学は、市民によって支えられている大学であることを強く自覚し、不断の改革を実行することを通じて、地域に愛され、地域の力になる公立大学として持続的に発展していくことが求められている。</p> <p><u>第1期中期目標期間では、様々な課題がありつつも、長野県初となる福祉系大学院として、長野大学大学院総合福祉学研究科を開設するなど、着実に事業を実施してきた。</u></p> <p>現在、人口減少や少子高齢化、グローバル化の進展、ビッグデータ、AIなどの情報技術の革新やSDGsの推進、更には新型コロナウイルス感染症がもたらす社会変容への対応など、時代の大きな転換期にあって、大学は地方創生に寄与する教育・研究を通じた、時代や社会のニーズに即した人材の育成など、実効性のある取組を通じて存在意義を一層高めていく必要がある。</p> <p>こうした状況を踏まえ、長野大学が自律的かつガバナンスを強化した大学運営を推進することにより、知の拠点としての使命を果たすため、設立者である上田市は、以下のとおり第2期中期目標を定める。</p>

第2期中期目標（案）	評価委員からの意見	市の考え方	第2期中期目標（修正案）修正箇所到下線										
第1 中期目標の期間及び教育研究上の基本組織													
1 中期目標の期間													
令和5年4月1日から令和11年3月31日までの6年間													
2 教育研究上の基本組織													
<p>中期目標を達成するため、法人に次のとおり教育研究上の基本組織を置く。</p> <table border="1" data-bbox="159 339 801 472"> <tr> <td rowspan="3">学部・学科</td> <td>社会福祉学部</td> <td>社会福祉学科</td> </tr> <tr> <td>環境ツーリズム学部</td> <td>環境ツーリズム学科</td> </tr> <tr> <td>企業情報学部</td> <td>企業情報学科</td> </tr> <tr> <td>大学院</td> <td colspan="2">総合福祉学研究科</td> </tr> </table> <p>また、この期間内に、新たな教育研究組織の設置も含めた大学組織の再編を行う。</p>	学部・学科	社会福祉学部	社会福祉学科	環境ツーリズム学部	環境ツーリズム学科	企業情報学部	企業情報学科	大学院	総合福祉学研究科		<p>②学部・学科、大学院の基本組織設置は中期目標を達成するためでしょうか？ 長野大学の目的と、中期目標より長期の目標に基づいた設置のように思います。 ①理工系学部の表現を入れてください。</p>	<p>②反映しました。 ①反映しました。</p>	<p>法人に次のとおり教育研究上の基本組織を置く。</p> <p>また、この期間内に<u>地域づくり人材に資する理工系学部を含めた</u>大学組織の再編を行う。</p>
学部・学科		社会福祉学部	社会福祉学科										
		環境ツーリズム学部	環境ツーリズム学科										
	企業情報学部	企業情報学科											
大学院	総合福祉学研究科												
第2 教育に関する目標													
1 教育の内容及び成果に関する目標													
(1) 学部教育に関する目標													
<p>今後、到来する予測困難な時代にあっても、学生が自律的な学修者となるよう、豊かな人間性を育み、社会で活躍できる課題解決能力や実践力と創造性を持つ人材を育成する。</p>	<p>①第1期【教育】にあった「<u>地域に根ざしながら世界を視野に活躍できる～人材の育成</u>」が反映されていないのではないか</p>	<p>表現を整理しました。 ①反映しました。 「第8(3)SDGsに関する目標」から移動しました。 「(3)教養教育」を集約するとともに、専門教育を復活させました。</p>	<p>将来予測が困難な時代にあっても、学生が自律的な学修者となるよう、豊かな人間性を育み、<u>地域に根ざしながら世界を視野に</u>活躍できる課題解決能力や実践力と創造性を持つ人材を育成する。 また、持続可能な社会を実現するための教育研究を推進する。 <u>(ア) 教養教育</u> 様々な学問分野の考え方を学び、広い視野で自分の専門に関連付けて考える教養と、対話や討論を基にした協働学習を通じて、主体性を持って判断できる能力を養成する。 <u>(イ) 専門教育</u> 基盤的専門知識の修得とそれらを企業や組織において活用する実践的応用力を養成する。</p>										
(2) 大学院教育に関する目標													
<p>地域と社会のニーズに応じた人材育成を行うため、<u>柔軟な体制</u>を構築しながら、<u>人々の安全・安心の実現に貢献する</u>高度専門職業人と研究者を育成する。</p>	<p>③柔軟な体制とは、何を意味するのか。 ④人々の安全・安心の実現に貢献する：なぜ、このような抽象的な表現を書くのか？すでに設置されている大学院の内容に即して端的に書くべきではないか。</p>	<p>③リカレント教育に対応した土曜日開講、長期履修学習制度の導入です。 ④大学院パンフレットの「設置目的」から引用した表現であり、このままとしたいと考えております。</p>	<p>地域と社会のニーズに応じた人材育成を行うため、<u>リカレント教育にも対応した</u>柔軟な体制を構築しながら、人々の安全・安心の実現に貢献する高度専門職業人と研究者を育成する。</p>										

第2期中期目標（案）	評価委員からの意見	市の考え方	第2期中期目標（修正案）修正箇所到下線
<p>(3) 教養教育</p> <p>様々な学問分野の考え方を学び、広い視野で自分の専門に関連付けて考える教養と、対話や討論を基にした協働学習を通じて、主体性を持って行動できる人材を育成する。</p>	<p>⑤人材を育成する：第1期は「能力を養成する」とあるが、なぜ「人材を育成」に変えるのか？（以下の項目中の同じ表記すべてについて同じ疑問あるが、特に）大学教育の一要素ではない教養教育の目標としては、「能力の養成」の方が適切な語ではないか（教養教育だけでは人材育成は完結しない）。大学にも意見も聞いていただきたい</p>	<p>⑤育成については、議会からの指摘を受け一律変更しましたが、指摘を受け第1期の表現を参考に見直しました。</p> <p>教養教育を（1）学部教育の(ア)とするとともに、(イ)に専門教育を復活させました。</p>	<p>第2 1 (1) (ア)教養教育へ移動</p>
<p>(4) 地域協働型教育に関する目標</p> <p>地域社会に蓄積された経験や知識と大学の科学的知見を活用することにより、課題を発見し、解決できる人材を育成する。</p>	<p>②長野大学の学びから、学部教育より上に地域協働型教育を位置付けるべきではないか。</p>	<p>②これまでどおり、大学の学部教育を優先したいと考えています。</p>	<p>(3) 地域協働型教育に関する目標</p> <p>地域社会に蓄積された経験や知識と大学の科学的知見を活用することにより、課題を発見し、解決できる能力を養成する。※⑥</p>
<p>2 教育の実施体制に関する目標</p>	<p>⑥2項以降のほとんど項目が「推進する」「図る」「取り組む」「行う」などとなっており、6年後の到達度が書いていない。行為を行えば目標達成となるが、それでいいのか？</p>	<p>⑥6年後の達成度についてはこれまでどおり、中期計画に記載いたします。文末の表現は第1期を参考に見直しました。</p>	
<p>(1) 教職員の配置に関する目標</p> <p>質の高い教育や研究活動を効果的かつ効率的に推進するため、優秀な人材の確保と多様性を考慮した上で適正な教職員の配置を行う。</p>			
<p>(2) 教育環境の整備・充実にに関する目標</p> <p>学生が学びやすい教育環境の整備と教育活動の充実を図り、良好な教育研究環境を維持する。</p>			<p>学生が学びやすい教育環境の整備と教育活動の充実を図り、良好な教育研究環境を整備する。※⑥</p>
<p>(3) 教育の質保証等に関する目標</p> <p>学生に質の高い教育を保証し、更なる質の向上を図るため、多角的に学修成果や教育成果を把握及び可視化する。</p>			

第2期中期目標（案）	評価委員からの意見	市の考え方	第2期中期目標（修正案）修正箇所到下線
（4）新学部設置等の教育研究組織の見直しに関する目標			
<p>地域社会から評価される大学となるべく、時代や社会に求められる学問領域を検討し、新学部の設置等による再編を実施するとともに、教育研究体制を強化・高度化するため、教育研究組織の体制の見直しを図る。</p>	<p>⑦新学部設置の狙いは、評価を得るためのみではない（評価は副次的効果に過ぎない）。理工系人材の排出の増加（そのための文系学部の理系転換）は、地域への直接の貢献でもあり、近似の国の要請でもある。新学部設置の意義を矮小化すべきではない（当該部分の削除ではなく、別の表現への修正でもよい） ⑧新学部設置はしっかり書くべきで文章を切った方がよい。 ⑨新学部の設置等による再編の他に、どのようなものを期待しているのか？</p>	<p>⑦反映し、表現を整理しました。 ⑧反映しました。 ⑨既存学部の再編などです。</p>	<p>時代や社会に求められる学問領域を検討し、新学部の設置等による再編を実施する。教育研究体制を強化・高度化するため、教育研究組織の体制の見直しを図る。</p>
3 入学者受入方針及び入学者選抜に関する目標			
<p>大学の理念や各学部・研究科の設置趣旨及び社会ニーズの変化を踏まえて、入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）を定め、それに沿って目的意識や学習意欲が高い優秀な学生をより多く確保するとともに、入学者選抜を見直す。</p>		<p>継続した取組を求める表現に改めました。</p>	<p>大学の理念や各学部・研究科の設置趣旨及び社会ニーズの変化を踏まえて、入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）を定め、それに沿って目的意識や学習意欲が高い優秀な学生をより多く確保するため、入学者選抜を見直すなど、効果的な制度改革に継続して取り組む。</p>
4 学生支援に関する目標			
（1）生活学修支援に関する目標			
<p>学生が高い学修意欲を持って充実した生活が送れるよう、学生の意見や要望を把握するとともに、修学上の課題対策を講じ、多様な学生に対応した支援を推進する。</p>			
（2）就職・進学支援に関する目標			
<p>学生が希望する進路を実現させるため、就職及び進学支援の充実を図る。また、上田地域定住自立圏域内定着に向けた就職支援の充実を図る。</p>	<p>⑩第1期は「就職先を拡大」「就職決定率及び地域内就職率を向上」とあったが、「支援の充実を図ればよいと後退させる理由如何？（第1期は実現が無理な目標だったから？）</p>	<p>⑩私学から公立大学になった第1期とは状況が異なると判断したため、表現を変更しました。就職決定率、地域内就職率に関しては、中期計画に位置付ける予定です。</p>	

第2期中期目標（案）	評価委員からの意見	市の考え方	第2期中期目標（修正案）修正箇所到下線
第3 研究に関する目標			
1 研究水準の向上及び研究成果に関する目標			
(1) 研究水準の向上に関する目標			
<p>競争的研究資金など外部資金を獲得しながら、学術研究の質を高め、地域や産業界等のニーズに対応した研究に取り組むとともに、研究水準の向上を図る。</p>	<p>①淡水研を位置づけるべき。淡水研は、自ら研究を行い高い成果を創出するとともに、共同利用機関として全国に貢献する組織として発展することが期待されるものであることを踏まえるべき。 ②地域や産業界ニーズに対応した研究は学術研究の質を高めるとは限らない（研究の質として評価される論文等には結びつかないものも多く、学術研究とは相反する性質を有することを理解する必要がある）。両者を区別して表記すべき ③研究水準の向上に関する目標、において「研究水準の向上を図る」としか書いていない</p>	<p>①淡水生物学研究所は中期計画で位置付けます。 ②公立大学である長野大学に市から求めるものは地域や産業界ニーズに対応した研究であることから、明記したいと考えています。 ③長野大学全体の研究に対し、向上を求めるものであり、具体的な手法については中期計画で定めます。</p>	
(2) 研究成果の公表と地域への還元に関する目標	⑭研究成果の公表は、研究水準の向上の方がなじむ	⑭⑮公立大学である長野大学に市から求めるものは地域に還元	
<p>地域協働による共同研究を推進し、研究活動や研究成果を積極的に発信するとともに、その成果を地域に還元する。併せて、上田市が抱える政策課題に即した研究に積極的に取り組む。</p>	⑮発信する研究活動・成果が地域共同研究に限定されているのはおかしい。あらゆる研究成果を発信すべき。	できる研究であることから、本表現としたいと考えています。	
2 研究の実施体制に関する目標			
<p>質の高い研究成果を得るため、教員が積極的・主体的に研究活動できる環境を整備する。</p>	⑯大事なことではあるが、具体的には、何を想定しているのか？	⑯競争的外部資金の申請支援等を想定していません。	

第2期中期目標（案）	評価委員からの意見	市の考え方	第2期中期目標（修正案）修正箇所到下線
第4 地域貢献及び国際化に関する目標			
1 地域貢献に関する目標			
<p>教育機関や産学官金関係団体等との地域活性化につながる連携活動を推進するとともに、大学の有する専門知識や技能等の資源を活かして地域のシンクタンクとしての役割を果たし、市が進める「学園都市づくり」等の地域活動の中心を担う。</p> <p>また、社会人が体系的に学べる機会を提供するほか、市民の多様なニーズにあったリカレント教育や生涯学習を積極的に支援する。</p>	<p>⑰「担い」ではなく「果たし」と書くのは、強い意味がこもっているのか？</p> <p>⑱「等」が不明。「等の地域活動」だと相当広くなり、その中心を担うのは大作業だと思うが、それを期待するのか？（そのためには、市のコミットメントも必要だが、その覚悟があるなら、それでいいとは思う）</p> <p>⑲リカレント教育を行うことは重要だし時宜にあってはいるが、具体的な実績や構想があるのか？</p>	<p>⑰公立大学として、地域課題の解決に向けた研究、取組を大学に求める姿勢は、長野大学を公立化する段階から変わらないものです。第1期は「役割を發揮」で表現しています。</p> <p>⑱地域活動については、現在のゼミや授業でも取り組んでいる状況を「等」としました。</p> <p>⑲実績に基づき、第2教育の大学院にリカレント教育を移動しました。</p>	<p>教育機関や産学官金関係団体等との地域活性化につながる連携活動を推進するとともに、大学の有する専門知識や技能等の資源を活かして地域のシンクタンクとしての役割を果たし、市が進める「学園都市づくり」等の地域活動の中心を担う。</p> <p>また、社会人が体系的に学べる機会を提供するほか、市民の多様なニーズにあった生涯学習を積極的に支援する。</p>
2 地域で活躍する人材育成に関する目標			
<p>地域の産業や福祉分野など地域活動を担う人材を育成し、輩出することによって、地域企業等に送り出す地域人材の循環を促進する。</p>			
3 国際化に関する目標			
<p>グローバル社会に求められる人材を育成するため、教育研究環境の充実を図る。また、海外の大学との連携など大学の国際化を推進する。</p>	<p>⑳第1期の「地域産業の国際化に寄与する。」は消してよいのか？（実行が無理だから？）</p>	<p>⑳第1期中期目標を作成した私立の頃の留学生受入れ状況と、公立化後の状況を考慮するとともに、第1期中期目標を参考に表現を改めました。</p>	<p>グローバル社会に求められる人材を育成するため、教育研究環境の充実を図る。また、海外の大学との連携を<u>深めるとともに、連携を基盤とした優秀な留学生の受入れと日本人学生の留学を促進し、国際化社会に求められる人材を育成する。</u></p>

第2期中期目標（案）	評価委員からの意見	市の考え方	第2期中期目標（修正案）修正箇所到下線
第5 業務運営の改善及び効率化に関する目標			
1 組織運営の改善に関する目標			
<p>理事長と学長が適切な役割分担のもと、リーダーシップを発揮し、迅速な意思決定、実行力と多様性のある戦略的な組織運営を行う。</p>	<p>③「包摂的な」を入れた方が良いのではないのでしょうか？</p>	<p>③前段には大学改革の推進への期待を表現しました。分離した後段には、男女共同参画をはじめ多様性と包摂性のある組織運営を求める表現に改めました。理事長と学長について、第1期を参考に表現を戻しました。</p>	<p>経営の責任者である理事長と教学の責任者である学長が適切な役割分担のもと、リーダーシップを発揮し、迅速な意思決定、実行力ある戦略的な組織運営を行う。 また、多様性（ダイバーシティ）と包摂性（インクルージョン）のある運営組織となるよう、取組を推進する。</p>
2 人事の適正化に関する目標			
<p>人事の適正化と組織の活性化を図るため、教職員の評価制度をはじめ、柔軟で多様な制度の運用や教職員の資質向上に取り組む。</p>			
3 事務の効率化・合理化に関する目標			
<p>事務処理の簡素化、外部委託の活用、デジタル化の推進等によって、事務の効率化・合理化を図る。また、男女共同参画や働き方改革を推進し、ワークライフバランスの確保を図る。</p>	<p>②また、男女共同参画や働き方改革を推進し、ワークライフバランスの確保を図る。：大学について、どうしたいかなので、職員の働き方については別項目としてください。</p>	<p>②「第8（4）働き方改革」を新たに設け、ワークライフバランスについて記載しました。</p>	<p>事務処理の簡素化、外部委託の活用、デジタル化の推進等によって、事務の効率化・合理化を図る。</p>

第2期中期目標（案）	評価委員からの意見	市の考え方	第2期中期目標（修正案）修正箇所到下線
第6 財務内容の改善に関する目標			
1 外部資金等の自己収入の増加に関する目標			
<p>安定的な経営を維持し、収支構造の改善を図るため、科学研究費助成事業のほか、各種補助金、共同研究・受託研究収入、寄附金など、外部資金獲得のための支援を推進し、積極的に外部資金の獲得を図る。</p>			
2 経費抑制に関する目標			
<p>市から交付される運営費交付金が税金で賄われていることを十分認識するとともに、大学運営の財務健全性を確保しながら人件費を含む経費の抑制を図る。</p>	<p>㉑（質問）基準財政需要額満額までは出していないということだが、過去6年間で総務省から市に公立大学用として算定・賦与された地方交付税と、市が大学に交付した交付金は同額なのでしょうか？ ㉒国立大学の交付金も税金。国立大学にもこのような記述があるのか？ ㉓財務健全性の確保とは、どのような指標で判断されるのか？ ㉔理工系学部設置するとなると優れた研究者の確保が必須となる。そのために必要な人件費は措置すべきである。また、国の政策も給与アップを民間企業に要請しており、人事院勧告も増額勧告である。</p>	<p>㉑同額ではありません。 ㉒信州大学の中期目標にはありませんでした。 ㉓㉔公立化にあたっての検討段階から、志願者の増加と入学定員の確保を通じて収入の増加を図るとともに、人件費を含めた経費節減など収支構造の改善を求めています。表現については改めました。</p>	<p>市から交付される運営費交付金が税金で賄われていることを十分認識するとともに、<u>業務運営の徹底した効率化と合理化により経費節減を図る。</u></p>
3 資産の運用管理の改善に関する目標			
<p>大学資産の適正な管理を行うとともに、効率的かつ効果的な運用管理を行う。また、地域貢献活動の一環として、大学施設の地域開放を行う。</p>			

第2期中期目標（案）	評価委員からの意見	市の考え方	第2期中期目標（修正案）修正箇所到下線
第7 自己点検・評価及び情報の提供に関する目標			
1 自己点検・評価に関する目標			
教育研究活動及び業務運営について、定期的に自己点検・評価を実施する。また、第三者機関による評価も活用し、教育研究活動や業務運営の見直しと改善に取り組む。			
2 情報公開及び情報発信等の推進に関する目標			
(1) 情報公開に関する目標			
教育研究活動や大学運営の透明性を確保するとともに、公立大学法人として社会への説明責任を果たすため、運営状況、財務状況や評価内容等の情報公開を推進する。			
(2) 積極的な情報発信に関する目標			
大学のブランドイメージの向上を図るため、教育研究活動や地域貢献活動及び業務運営に関する情報等を積極的に発信し、大学の広報・宣伝に取り組む。	<p>㊸広報・宣伝は、ブランドイメージ向上のためだけにあるのではない。また、以前の評価委員会の議論を踏まえれば、「ブランドイメージ向上のための様々な取組を行うこと」が目標になるのではないかと。</p> <p>㊸大学名変更についてはいかがですか？学部再編のタイミングでとの話もありましたね。</p>	<p>㊸「情報発信」として表現を整理しました。</p> <p>㊸公立化にあたっての議会等との協議の中で名称を「長野大学」として決定している経過があり、名称の変更は考えていない状況です。</p>	教育研究活動や地域貢献活動及び業務運営に関する情報等を積極的に発信し、大学の広報・宣伝に取り組む。
第8 その他業務運営に関する目標			
1 社会的責任に関する目標			
(1) コンプライアンスの徹底に関する目標			
コンプライアンスの徹底に向けた取組を推進し、市民に信頼される大学づくりを行う。	<p>㊸市民に信頼されるための本筋は、コンプライアンスというような消極的なものではなく、優れた成果、人材の輩出という本来業務での目に見えた成果の創出である。市民の信頼はコンプライアンスを守ればよい、という誤ったメッセージを教職員に与えかねない</p>	<p>㊸コンプライアンスに特化した表現に整理しました。</p>	<p><u>業務の適正を確保するため、コンプライアンスを徹底するための体制を強化する。</u></p>
(2) 人権の尊重に関する目標			
人権侵害やハラスメントを防止するための取組を推進する。			

第2期中期目標（案）	評価委員からの意見	市の考え方	第2期中期目標（修正案）修正箇所到下線
2 施設設備の整備・活用に関する目標 良好な教育研究環境を維持するため、既存施設を有効に活用するとともに、新学部の設置などを考慮したうえで、適切かつ効率的な施設設備の整備・更新及び維持に計画的に取り組む。	㊸今期においては、学部再編を踏まえた施設整備という大事業を行うのであれば、大学の財務に及ぼす影響が大きいため、「その他」ではなく、第6の項に記載する方がなじむのではないか。	㊸検討しましたが、第1期と同じく、この場所で納めることとしたいと考えています。	
3 安全管理及び情報管理に関する目標			
(1) 安全管理に関する目標 学生及び教職員の健康と安全の確保を図るため、適切なリスク管理を行う。			
(2) 情報管理に関する目標 個人情報の管理を徹底するなど、組織的な情報セキュリティ管理体制の運用を行う。			

その他

○6年前に第1期の時に議論した時には、一応上田市の資金見積りを出していた。上田市が懇談会資料として出していたもので、各年の資金見積りが示されていた。そうした試算を第2期策定にあたっては行わないのか。

→第2期中期計画に収支計画を掲出します。